

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 3月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	垂水市柁原625-2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	令和4年2月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	-----------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年3月11日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念である「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがいがづくり」をモットーに、入居者が安心・安全にその人らしい生活が送れるようにスタッフ皆で情報の共有に努めチームケアに取り組んでいます。今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため隣接している小規模多機能ホームや地域の方々との交流ができませんでした。外出も外泊も禁止されている中少しでも入居者様に楽しんで頂けるよう小規模な行事を行ったり、日頃食べれないお寿司やお弁当を取って屋外で食べたりとできるだけストレスを感じずに過ごして頂けるよう取り組んでいます。面会は現在窓越しになっていますが、大きな窓で表情もよく見え会話も電話のできるご家族からも喜ばれています。引き続き感染症対策をしっかり行い施設内に持ち込まないよう努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、垂水市中心地から数kmほど離れた海辺沿いの柁原地区の一角に、同法人の小規模多機能ホームに隣接して平成24年に開設されている。国道220号線から一筋入った閑静な住宅地で、周辺には小学校や郵便局、個人商店、住宅等が立ち並んで利便性は良い。法人母体の医療機関とは車で15分程で、利用者の医療や健康管理の連携が密に図られて、利用者や家族の安心に繋がっている。

開設以来、自治会に加入して地域との交流を大切に取り組んでおり、散歩や買い物時の会話やイベントへの参加、浜掃除などの奉仕作業、農産物の差し入れなど円滑に交流する関係を築いているが、現在はコロナ禍に配慮して面会は窓越しで実施し、イベントへの参加やボランティアの受け入れ、ホームの行事への家族や住民の参加等は自粛している。地域住民を対象とした認知症カフェの開催や、寄せられる認知症ケア等の相談には専門性を生かして助言に努めている。

管理者及び職員はホームの理念を共有し、ケアの振り返りや意義の確認等を行いながら理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。利用者の尊厳や人格、想いを大切に安全でその人らしい生きがいのある暮らしとなるように、趣味や楽しみ事の取り組みも意向に沿って個別の支援に努めている。利用者の個性やペースを尊重し急かさないうケア、残存能力や自己決定を尊重したケア、過剰にならないケアに取り組んでいる。日頃から利用者及び家族からの意見や要望等の把握に努め、全員で協議して改善に繋げており、本評価のアンケートの結果からも家族の満足度の高さが窺える。

管理者及び職員は、気軽に意見を言い合える信頼関係の構築に努めており、業務の中やケア会議等で意見や要望を出し合って運営やサービスの改善に取り組んでいる。管理者はケアに対する助言、指導に努め、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情等にも配慮するなど、働きやすい職場環境の整備に努めている。職員の資格取得や外部研修受講に係る経費については、法人の助成制度もあり職員のモチベーションアップに繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は常に目に入る所に掲示し理念に沿ったケアができるように心掛けている。	ホームの理念は、目に付き易い玄関やホールに掲示し、パンフレットにも掲載して周知を図っている。日頃の業務の中やケア会議時に振り返りや意見交換、実施状況の確認等を行い、常に理念を意識しながら支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で地域の方との交流はできていませんが、挨拶を交わしたり野菜の差し入れを頂いている。	町内会に加入して情報の把握に努め、地域のイベントや浜清掃への参加や農産物の差し入れ等、円滑に交流してきているが、現在はコロナ禍に配慮して、買い物、外食、ボランティアの受け入れ、ホームの行事への住民の参加等は控えている。住民を対象にした認知症カフェの開催や認知症理解の寸劇、詐欺被害防止のグループワーク等を実施し、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアの相談にも専門性を活かして助言している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	夏に認知症カフェを開催し寸劇を交えながら認知症の方への対応の仕方について地域の方々と一緒に考えた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用状況、事業所の取り組み等を報告して意見を頂き、サービスの向上に活かしている。	会議は、家族や民生委員、自治会長等が参加して定期的で開催してきているが、コロナ禍に配慮して本年度は書面会議への変更も3回行っている。利用者の状況や活動内容、ヒヤリハット等を議題に協議して意見を頂いており、職員は内容を議事録で共有しケア会議等で検討して業務やサービスの改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者とは電話で話したり窓口に出向き申請書類の相談をする等助言をもらっている。運営推進会議時も情報交換している。	市担当者とは、窓口や電話で介護保険の更新や各種制度の申請及び報告、感染症予防に関する協議等を行い、指導や助言、提案を貰うなど日頃から協力関係を築いている。市主催のズームによる会議にも出席してサービスの向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を3ヶ月毎に1回開催している。法人研修やケア会議でも勉強会を行い職員の理解を深めている。	身体拘束や高齢者虐待の防止については運営規定や利用契約書に明記し、権利擁護や接遇を含む研修の実施で認識を共有している。適正化を図る指針を整備し、身体拘束委員会も年4回開催すると共にケア会議等で意見交換や振り返りを行って、拘束をしないケアに努めている。昼間は施錠せず、外出したがる利用者には対話や散歩の同行で気持ちの安定を図っており、不適切な発言等には、その都度、注意や助言を行うなど、日頃から改善に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修や法人内での勉強会を通して虐待に対する認識に努め、職員同士意識し合い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内での勉強会が毎年実施され全員参加が義務付けられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に沿ってきちんと説明し、疑問点はその都度対応している。改定時は文書にて案内している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話の際に話を聞いてご意見、ご要望等あればスタッフ間で情報の共有をし出来るだけ反映できるように取り組んでいる。	利用者や家族には気軽に意見を出しやすいように日頃から配慮している。利用者の思いは日常の会話で、また、発語が難しい利用者からは表情や仕草等で理解に努めており、家族からの意見、要望は面会（窓越しで実施）や電話、手紙等で把握している。隔月毎に発行の園便りや写真の送付で実状を伝え、要望等を貰うように取り組んでおり、出された要望は全員で協議して改善につなげている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常会話、ケア会議、個人面談等で出た意見を運営に反映させている。	管理者及び職員は年齢や経験年数に関係なく気軽に意見を言い合える信頼関係の構築に努めている。通常の業務の中や申し送り、ケア会議時に意見や要望を出し合い、隔月毎に個人面談も行って改善を図っている。管理者は、業務に関する助言や指導、研修を実施し、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情にも配慮する等、働きやすい職場環境の整備に努めており、職員の定着率も高い。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	厳しい現状の中で整備されていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の勉強会や各事業所での勉強会、外部の研修会など職員のレベルに合わせた研修に参加してもらいスキルアップできるよう取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会等で話をして得た情報をケア会議や日頃の会話の中で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族の希望等を聞き状態を見ながら安心して過ごせるように職員間でも情報の共有に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とコミュニケーションを図りながらその中で不安や悩み事を把握して解消できるように取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の要望をよくききケア会議でスタッフ全員で協議し必要なサービスを提供できるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	野菜の下ごしらえや洗濯などできる事は協力してもらい自宅にいるような環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で入居者様の情報を伝えご家族の要望をできる限り実現できるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策でまだ面会や外出が禁止されていますが、これまでご本人が築いてきた関係を絶たないよう努めている。	入所時の利用者や家族、関係者からの情報で各利用者の馴染みの情報を把握している。通常は近辺の散歩や買い物、一時帰宅、通院、墓参等を家族の協力も得ながら支援しているが、現在はコロナ禍に配慮して殆どの外出を控えている。家族とは窓越しの面会の実施や電話や手紙の取り次ぎ、園便りの送付等で関係の継続に努めており、個人用の携帯電話を所有している利用者は、日常的に家族や友人と会話している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握してトラブルに留意しながら早目の対応を心掛け孤立しない支え合える関係づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	挨拶や各行事のお知らせなどを通じて関係を保っている。相談等あればできる範囲で支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話の中で得た情報をスタッフ間で共有し、本人の思い願いが反映できるようにしている。	理念にも「利用者の思いや願いを大切にしたケア」を掲げており、日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いの汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら、その人らしい安全で生きがいのある暮らしになるよう取り組んでいる。利用者の意向に沿って、音楽やテレビの視聴、菜園での野菜収穫、ぬり絵、園庭の散歩、炊事の手伝い、テーブル拭き等の取り組みを、体調や残存能力に配慮しながら個別の支援も行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のサマリーやモニタリングに目を通し把握に努めている。ご家族からの情報も共有している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中でできる事を探り継続していけるようスタッフ間でケアの統一に心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	心身の状態観察を行い小さな変化を見逃さずスタッフ間で情報共有し、より良くチームケアができるようケア会議で話し合い計画している。	利用者及び家族の思いや意向を把握し、主治医の指示やモニタリング（3か月毎開催）時の職員の意見等を基に、残存機能や楽しみ事にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化時には実態に沿って計画を変更して改善に取り組んでおり、ケアの実施状況は業務日誌やバイタルのチェック等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌は一日が一目でわかるようにみやすくしている。変化や気づき等あった時は個別に記録しスタッフ間で共有し介護計画の見直しや実践に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフ間で情報を共有し必要なニーズに対応して可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在も感染症対策のため事業所行事、地域行事も中止となり交流できていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時かかりつけ医を把握し緊急時にもすぐに対応してもらえるよう連携をとっている。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、殆どの利用者が協力医療機関を主治医としている。通院や主治医の訪問診療（月2回）が実施され、他科受診は家族と協力して同行している。協力医療機関との連携に努め、早期治療や緊急時の対応等適切な医療が受けられており、看護職員を中心に衛生や健康管理も徹底している。健康状態は家族にも密に報告しており、利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	状態変化があった時は必ず報告し指示をもらい対応している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	ご家族や入院先の相談員と連携し情報交換を行い退院後も支障なく生活ができるよう努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	時期をみて早い段階で主治医も含めて説明を行い、本人・ご家族の意思を確認し同意書を作成している。また意向に添えるよう情報の共有をしながらチームケアに取り組んでいる。	看取りの対応については指針を整備し、入所時に利用者及び家族に説明して理解を得ている。入所後は利用者の状態変化に応じて終末期のケアを含む話し合いを実施し、ホームで可能な限り希望に沿った支援に取り組んでいる。看取りについては過去に1件実施しているが、最終段階で殆どの利用者が医療機関への入院や特別養護老人ホーム入所を希望している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	年一回救命訓練（心肺蘇生法、AED使用法）を実施、緊急時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。</p>	<p>夜間発生も想定した火災中心の災害訓練を、隣接の小規模多機能ホーム（同法人）と合同で年2回実施し、通報や消火器の取扱い等も研修しているが、コロナ禍で消防署立ち合いは得られていない。土砂災害地区に指定されていたが、防災工事は完了しており、自治会との災害協定を結んで協力体制を構築している。スプリンクラーや自動通報装置が設置され、ラジオ、懐中電灯、カセットコンロ等を備え、5日分の食料、飲料水も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格や性格、認知症の症状の違いを理解し認知症があっても不安なく安心して生活していけるよう支援している。	個人情報やプライバシー保護、守秘義務については運営規定や重要事項に明記し、利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように研修を実施し、また、ケアの振り返りや意見交換も行って認識を共有している。利用者の自己決定を尊重した支援に取り組み、ホームの浴室やトイレ、居室等はプライバシー保護に配慮した構造になっている。排泄や入浴時のケアは羞恥心にも配慮した言葉遣いに努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフの判断ではなくご本人に意思確認をし判断してもらっている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の思いを大切にその方のペースに合わせてながら支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服を選んでもらったり化粧品の補充等している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一日の中での楽しみの一つと考え献立をたてている。年に数回外食もしていたがコロナ禍でできないため好みのお寿司やお弁当をテイクアウトで提供している。	利用者の好みや形態、季節感、盛り付け等に配慮し、菜園で収穫した野菜も活用している。お節や節句、敬老会等の行事食や手作りのおやつ、クリスマスや誕生会のケーキ、寿司や弁当のテイクアウト、園庭でのお茶、ソーメン流し等、食事が楽しみなものとなるよう工夫している。利用者も日常的にキヌサヤの筋取りやツワブキの皮むきなど食材の下処理やテーブル拭き等を行っている。外食や家族との会食は自粛中である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量は毎日記録し少ない方には補食等を提供したり家族に相談し本人が好まれる飲み物等を持ってきてもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後声掛け・誘導行い自己にてできる所は行って頂きできない所は介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄のパターンを把握しながらトイレで排泄できるよう誘導している。	各利用者の排泄パターンを把握し、身体の状態や習慣に配慮した声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を、複数介助も取り入れながら支援している。また、ポータブルトイレを使用する利用者もいる。身体機能に応じた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させており、介護用品の使用量減少等の改善がみられている。便秘の予防には食事や水分、オリゴ糖の摂取を配慮し、主治医にも相談しながらコントロールに取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多く摂取できるように本人の好みに合わせた飲み物の提供やお茶にオリゴ糖を入れて飲用して頂いたり個々に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルチェックを行い体調確認しながら声掛けを行っている。	基本週3回午前中の中の入浴を支援しているが、必要時には、その都度、清拭やシャワー浴で清潔を保っている。温度や時間、午後の入浴、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し、2人介助も取り入れながら個浴でゆっくり楽しんでもらっており、職員との親密なコミュニケーションの場にもなっている。入浴後は水分補給や軟膏塗布を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いしないで、時間や足浴への変更、声かけ等を工夫し、利用者の意向を汲み取りながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況を見て臥床時間を設けている。夜間は入居者のペースで居室に戻ってもらっている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療管理簿を作成し個々の薬の情報をすぐに確認できるようにしている。本人の状況により手渡しや全介助までその方に合った与薬を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる事に合わせて手伝いをもたらったり嗜好品を提供している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症対策でまだ外出禁止となっており自由にでかけることはできませんが、近所の散歩をしたり外気浴をかねて屋外で食事をしたりしている。	コロナ禍により、いろいろな行動制限が続いているが、利用者の状態に応じて園庭での日光浴や周辺の散歩、屋外での昼食等に取り組んでいる。感染予防対策を徹底して家族との通院の実施やドライブにより季節の花や街並みを車窓から楽しむこともあるが、外泊、外食、墓参等は控えている。外出の機会が減少している為、室内での軽い体操やゲーム、動画配信サイトによる歌謡曲や映画鑑賞等、工夫してリフレッシュに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる方は自分で持ってもらい、できない方は買い物も希望などあればご家族に買ってきてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話は居室でゆっくりできるよう配慮している。毎年年賀状・暑中見舞いを写真付きで作成しご家族にも喜ばれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感が感じられる展示物を公共の場に展示している。また湿度・温度を測定し過ごしやすい空間作りに努めている。</p>	<p>リビングは、明るく余裕あるスペースが確保され、テーブルやソファ、テレビ、手すり等を動線に配慮して設置している。随所に季節感のある利用者の作品や折り紙の雛人形、写真等が飾られ、台所からは調理の音や臭いが伝わるなど家庭的で和やかな雰囲気である。清掃や空調、整頓を徹底し、不快に感じる音や臭い等もなく手指消毒剤も備えられて、利用者は四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間でもソファを置いたりしてパーソナルスペースの確保ができるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた品物を持ち込んで頂き使いやすいように家具の配置もしている。</p>	<p>居室はフローリングの床にベッド、エアコン、ダンス、ナースコールが備えられ、腰高窓の構造で明るく余裕ある広さが確保されている。利用者は自宅で愛用していたテレビや家族写真、寝具、机、小物等を持ち込み、自身の作品や誕生日のプレゼント等も飾って、その人らしい寛げる居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様の安心・安全を心掛けそれぞれのに合った環境づくりができるようにしている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない